

「with-コロナ」での講義のヒント ～「医学科学生による授業評価アンケート」をもとに～

2021年1月 総合医学教育センター(永井、小林)

【1】 対面での講義を行うためのカリキュラムの工夫 (教務委員会レベル)

- (1) 大教室(基礎第3講義室、40周年記念講堂)を使用し、
クラス(学年)ごとに、午前・午後あるいは曜日で交代して、**教室を共有する**
- (2) **クラス(学年)を半分に分ける**:
2つの教室で同時に講義する(一方は講義をディスプレイに映写、板書には制限)、
同じ講義を2回行い登学する学生は半分、残りの学生には遠隔授業/課題(宿題)、
学生の半数は対面で残りは遠隔で受講(自宅待機中の学生への配慮にも)、など

☆昼食や自宅との移動時間を確保するために、綿密なスケジュール管理が必要になる。

★他大学では、対面と遠隔を選ばせたら対面授業への出席者が減ってしまった事例もある。

★学生同士のディスカッションや小学習室でのグループワークは困難(遠隔では可能)。

【2】 遠隔(リモート)でより良い講義を行うための工夫 (講座・教員レベル)

- (1) 基本的な考え方として(「with-コロナ」でも sustainable で resilient な講義を):
対面授業と遠隔授業の「いいとこ取り(ブレンディド)」をする
学生が「自分で勉強する」+「考える習慣をつける」ことができるように促す
- (2) 対面授業あるいは同期型 (リアルタイム型、Teams、WebEx、zoom 等による)であれば:
事前に資料を配布(Moodle を活用)
講義の要旨が追えるように、簡潔なレジュメあるいは文字中心のスライドを
授業スライドから患者情報や引用した写真等を削除して pdf にする、など
ゆっくりはっきり、話しかける(モニター越しでも対面したように)、頻繁に問いかける
- (3) 非同期型(オンデマンド型、Moodle による、OneDrive や YouTube 等を併用)であれば:
1本の動画は15分程度に分ける(内容の「全て」を話す必要はない)
教科書を指定し、それに沿ったレジュメを提供する(予/復習用)
小テスト等を提供する(Moodle を活用して作成することも可能)
- (4) 授業形態によらず、課題や試験結果のフィードバックを行う:
個別のフィードバックが望ましいがクラス全体へのフィードバックでも効果が望める
学生からの質問に対する回答のファイルを作成しておく、次年度以降も使える、
提出課題や筆記試験の解答例を公開する、試験後に解説の時間を設ける、など

医学科学生による授業評価アンケート(2020年11月実施)、自由記載から抜粋

※残念ですが全ての学生の全ての要望に沿うことはできません。種々の制約や教員の要望もあります。

※対面授業を希望する学生と遠隔授業を希望する学生とは「半々」(半数ずつではない)

- ☆対面授業が最も理解しやすいので、対面授業を増やすべき。(1回生)
- ・遠隔授業でできているのは最低限のことなので、早く対面に戻って欲しい。(4回生)
- ・どの講座も一回くらいは対面なり Teams なり教員による授業を行って欲しい。(4回生)
- ・(医科学研究の)実験やりたいです。(2回生)

- ・わざわざ対面でなくとも講義内容は動画配信で十分伝わっている。(3回生)
- ・部活が禁止されているときは対面授業も禁止にすればいいと思う。(3回生)
- ★感染対策の観点から、対面の必要性の低い講義は遠隔授業を希望します。(1回生)
- ★医学生が感染するのは世間的にどうかと思うので、できるだけオンラインで。(2回生)
- ☆対面で授業をするのはそれに値する授業(実習など対面でないといけないもの、資料を読むだけではわからない感覚的な理解をするための授業など)だけにして資料を読めばわかるようなことは自主学習に任せてほしい。(1回生)
- ☆コロナだからではなく、これを機にインターネット等を利用した効率的でより効果の出る授業をこの先も希望します。(3回生)

※昼食や移動時間の確保のため、対面か遠隔かで統一して欲しいという希望が多い

- ・1日のうちに対面と遠隔の授業があるのは、分ける意味がないと感じた。対面授業を取り入れるのならばすべて対面に統一してほしい。(3回生)
- ・全て対面か遠隔かで統一して欲しい。(2回生)
- ・遠隔でできる授業を対面でしないでほしい。対面するならばすべてでしてほしい。(1回生)

- ★対面授業と遠隔授業を組み合わせた時間割を組まないでほしい。どう頑張っても授業中に昼食をとらないとその後の授業に間に合わない。(1回生)
- ★同期型オンライン授業ではなく非同期型の Moodle にしてほしい。午前対面授業の後に午後同期型オンライン授業をしないで欲しい。(2回生)
- ★遠隔授業と対面授業の間の移動時間の考慮をして欲しい。特にテストの時には、遠隔授業の後の小テストがあった場合、更に大変なので、考慮して欲しい。(3回生)

※学生の学習スペースの確保も課題

- ・教室開放など自主学習できるスペースがよりあると勉強しやすいと思う。(2回生)
- ・図書館が開いていない時期が勉強に対するモチベーション低下に繋がった。(4回生)

★同期型の遠隔授業に対する学生の意見はなかなか厳しいが...

- ★同期型のオンライン授業ではスピードが早すぎたり、回線が悪くて聞き取れなかったりすることがある。Moodle でのオンデマンド型の方が何度も観られるので良い。(2回生)
- ★Teams ではトラブルも多々ある事に加え、非同期型とテンションはあまり変わらない授業も多くありました。講座にもよりますが、学習効率がさがったように思います。(3回生)
- ★(同期型の)Teams では音声聞こえないのに授業が進行したり、インターネット回線が悪い時は音声が途切れて授業が聞こえなくなったりして、(非同期型の)動画配布ではしなくてもいい心配や不便を感じる。(3回生)
- ★同期型の授業は必要ないと思います。先生も学生もバタバタするし、知識が頭に残りにくいです。例えば、ドラマを観ることを考えてみてください。週一回のドラマの内容を毎回覚えていられますか？それに比べて Netflix などの動画配信サービスではいわゆる「いっき見」をする事ができ、順序立てられた内容を連続的に追うことができます。これと同じように、講義も Moodle にアップするスタイルの方が全容を把握しやすく知識が入りやすいです。対面ですか、Moodle ですかの 2 択を希望します。(3回生)

☆非同期型授業の多かったオンライン授業の中で、Teams を用いた同期型の授業を行うことにより、生活リズムを崩さずに集中して受講ができる環境を整えられた。(1回生)

☆Teams を利用した授業は、先生にとっても学生にとっても移動やスライドの見やすさにおいて効率的だと思うので、こちらも適宜活用して欲しい(対面講義ではスライドが見えにくい、板書がよく読めないなどの問題あり)。(3回生)

☆同期型で先生の顔が見えるとこれまでのような授業と同じような感覚で受けられる。また、スライドに書き足したり、ライン引いたりしてくれるのでそこも良いと思う。(3回生)

☆Moodle でレジュメを共有するだけでなく、Teams を用いたライブ授業も行うことで、教員が学生の学習を放任していないという安心感のようなものを覚えた。(4回生)

☆資料を事前配布して欲しいという希望が多いが、電子媒体か紙媒体かは意見が別れる

- ・資料は手元に置いて授業を受けたいので pdf など先にデータとして欲しい。(1回生)
- ☆授業に関する問題集が、自分がどれ程理解出来ているかの確認に良かった(2回生)
- ☆遠隔授業をする時にメモできるように手元に資料があると学習効率が良い。授業の前日くらいまでには講義資料が Moodle にあがっているとよい。(2回生)
- ☆iPad 等のタブレットを使用する学生が増えており、pdf での資料配布は非常に助かった。紙媒体は保管に困るし、検索機能などの面で非効率的なのでこれからは対面授業が開始されても続けて欲しい。(3回生)
- ・去年までは紙媒体で資料をもらっていたが、今年のようにデータでもらった方が管理しやすかった。普通の授業が再開しても、続けてほしい。(4回生)

★講義資料を紙媒体で配布してほしい。(3回生)

★印刷代の補助などがあればよかった。(4回生)

☆動画も含めて、資料をサイトから削除しないで欲しいという希望が多い。

☆毎回の授業を録画して、いつでも見られるようにしていただきたいです。コロナが収束したとしても、授業内容をいつでも復習できるので、ぜひお願いしたいです。(2回生)

☆Moodle では先生の負担は大きいことは重々承知しているが、聞き逃した部分を巻き戻せたり、試験前に改めて聴き直せたりするのがとてもよい。(3回生、複数の同意見)

・課題に取り組む期限が明示されており、資料も保存期間が十分に確保されていると、学習に取り組むやすいと感じた。(4回生)

・授業動画を試験日まで使用可能にしてもらったのがとても有難かった。(2回生)

・〇〇学は難しく覚えるものばかりだと聞いていましたが、非同期型だったので何回も授業を受けることができ、難しい範囲の内容でも理解することができました。(2回生)

☆Moodle の遠隔講義の内容はできるだけ消さないようにしてほしい。試験前に何回も講義動画を見直すことが、過去問などを丸暗記するのではなく、内容の本質を理解して問題を解けるようになることにとても役に立った。(2回生)

☆非同期型授業で視聴期限も長かったため、自分の時間で集中して学習することができた。テスト前にも再度視聴することができたのでよかった。(3回生、複数の同意見)

☆学生の視点から見た資料や授業の工夫

☆とてもわかりやすい説明でかつ 15 分ほどの短い授業をたくさんアップロードして下さっていたので、集中して全てを聞くことができた。小テストがあったのもよかった。(1回生)

☆レジュメをきちんと用意した上で、Moodle などで復習をいつでも出来るようにしながら、はっきりとわかりやすく、テンポの良い動画の授業が良かった。(1回生)

・画面共有でスライドに書き込みながらの講義は流れが理解出来て良かった。(1回生)

・勉強の仕方を教えてくれたことで、勉強の意欲が上がった。レポートの書き方の授業で、動画や新聞記事を利用して具体的に説明してくれたので理解が深まった。(1回生)

☆非同期型でも、対面のような話し方で授業して下さったので聞きやすかった。(2回生)

☆スライドを読むだけではなく余談や内容に関連の有る話がある方が理解しやすかった。

・オンラインでのセミナーや意見交換(医科学研究)があり、学外の取り組みや友人の考えを知る機会があつて、学習意欲が高まった。(2回生)

☆ユーモアも交えながら、適当な時間での動画教材が良かった。顔が写っていることで、より対面授業に近い感覚で講義を聴講できて、より集中できる。(3回生、複数の同意見)

☆〇〇学は遠隔授業にも関わらず事前に冊子を配布しておいて下さり、スライドに音声付きで丁寧な説明をされていて、冊子に書き込みながら学ぶことができました。動画自体の長さも長すぎず、あらゆる点において学生に配慮した最高の授業でした。(3回生)

- ・〇〇先生は講義の順番がはっきりしていて、知識の整理がしやすかった。〇〇先生も後日に PDF 資料を講義の順番通りに Moodle にアップしてくれて、分かりやすかった。逆に講義の順番がバラバラな科目はテストの時に困った。(3回生)
- ・音声付きパワーポイントと pdf が一緒に配られた回はとても分かりやすかった。(4回生)
- ・レジュメだけで終わるのではなく、しっかりと授業動画を出して下さった。また、レジュメの質が良かった(レジュメの背景が黒ではない、小さく印刷されることがない)。(4回生)

☆課題や試験へのフィードバックを希望する声が多い

- ☆提出課題に対する丁寧なフィードバックやクラス全体での共有が良かった。(1回生)
- ・質問対応が素早く丁寧で良かった、Moodle でのフィードバックもあり学習しやすかった。
- ・フィードバックが早くてやる気が出た。些細な疑問にも答えて下さり嬉しかった。(1回生)
- ・授業で扱った内容を理解するための小テストがあると意欲が深まる。(2回生)
- ☆テスト前には学生からの膨大な質問に対して丁寧に回答して下さいました。(2回生)
- ☆スケッチを毎回スキャンして提出し、その都度フィードバックを与えてくれた。(3回生)
- ☆試験後には試験内容のフィードバックやテスト解説もあり、理解が深まった。(3回生)
- ☆遠隔授業での課題について、提出した者への確認メールや提出していない学生への連絡など、提出漏れを無くすことができ意欲的に勉強することができた。(4回生)
- ・課題を出しっぱなしにしないで、解答例を用意してもらえると復習しやすい。(4回生)
- ★満点でないならどこを改善すればいいのかのフィードバックが欲しい。(3回生)
- ★テストの採点基準や自分の点数を教えて貰えない講座がある。学習のフィードバックがもう少し具体的に欲しい。(3回生)

※連絡方法の統一についての希望も多い。

- ・〇〇学では、学生に動画公開予定日などをこまめに連絡して下さった。また対面授業だった場合の予定日から遅れることなく授業動画を配信して下さった。(3回生)
- ☆〇〇学講座は代表者などを通じて学生と連絡がしっかり取れており、不備や注意事項を細かく教えて下さった。(3回生)
- ・授業資料を送るときに Moodle か修学支援システムどちらかに統一してほしい。(3回生)
- ★遠隔講義の情報を一ヶ所にまとめてほしい。医学部ポータルサイト、Moodle、修学支援システムの3つに分かれており見逃す可能性がある。修学支援システムのメールで講義の情報を配布されると見逃すことが多かった。Moodle への一元化を希望。(3回生)
- ★連絡の方法を統一してほしい(講義が Teams で行われた時に、当日までいつ行われるのかわからないことがあり、困った)。(4回生)
- ・出席があるかどうか分かりにくいので教えてほしい。明確にしてほしい(4回生)